

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
神戸市	西区押部谷町高和地区	令和3年3月30日	令和4年9月30日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	91.72ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	54.76ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	33.33ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12.89ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.57ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0ha
(備考)	

- 注1:③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

現在、高和地区では、地区内の果樹団地での果樹生産、水田での水稻生産を中心とした農業が行われているが、農業者の高齢化・後継者不足等により維持管理が難しくなっている農地もある。
今後は耕作放棄地の増加が懸念されるため、さらなる農地の集積・集約及び新たな農地の受け手の確保が必要となっている。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高和地区の農地利用については、認定農業者5経営体（うち3経営体は畜産農家）及び認定新規就農者3経営体を中心経営体に位置づけ、果樹の生産面積の維持及び生産品目の拡大に取り組むほか、施設野菜等の高収益作物の生産面積の拡大を図る。
水田については、水稻生産により農地を維持するとともに、入作を希望する近隣地区の認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進し、農地の集積・集約にも取り組む。

- 注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。
注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営規模	経営作目	経営規模	農業を営む 範囲
認農法	認定農業者(法人) A	果樹	28.26 ha	果樹	28.26 ha	
認農	認定農業者B	果樹・水稻	3.70 ha	果樹・水稻	3.70 ha	
認農法	認定農業者C	畜産(肥育)	344 頭	畜産(肥育)	400 頭	
認農	認定農業者D	畜産(酪農)	18 頭	畜産(酪農)	50 頭	
認農	認定農業者E	畜産(肥育)	169 頭	畜産(肥育)	220 頭	
認就	認定新規就農者F	野菜	0.95 ha	野菜	0.95 ha	
認就	認定新規就農者G	野菜	0.41 ha	野菜	0.41 ha	
認就	認定新規就農者H	野菜	0.33 ha	野菜	0.33 ha	
計	8人		531 頭 33.65 ha		670 頭 33.65 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

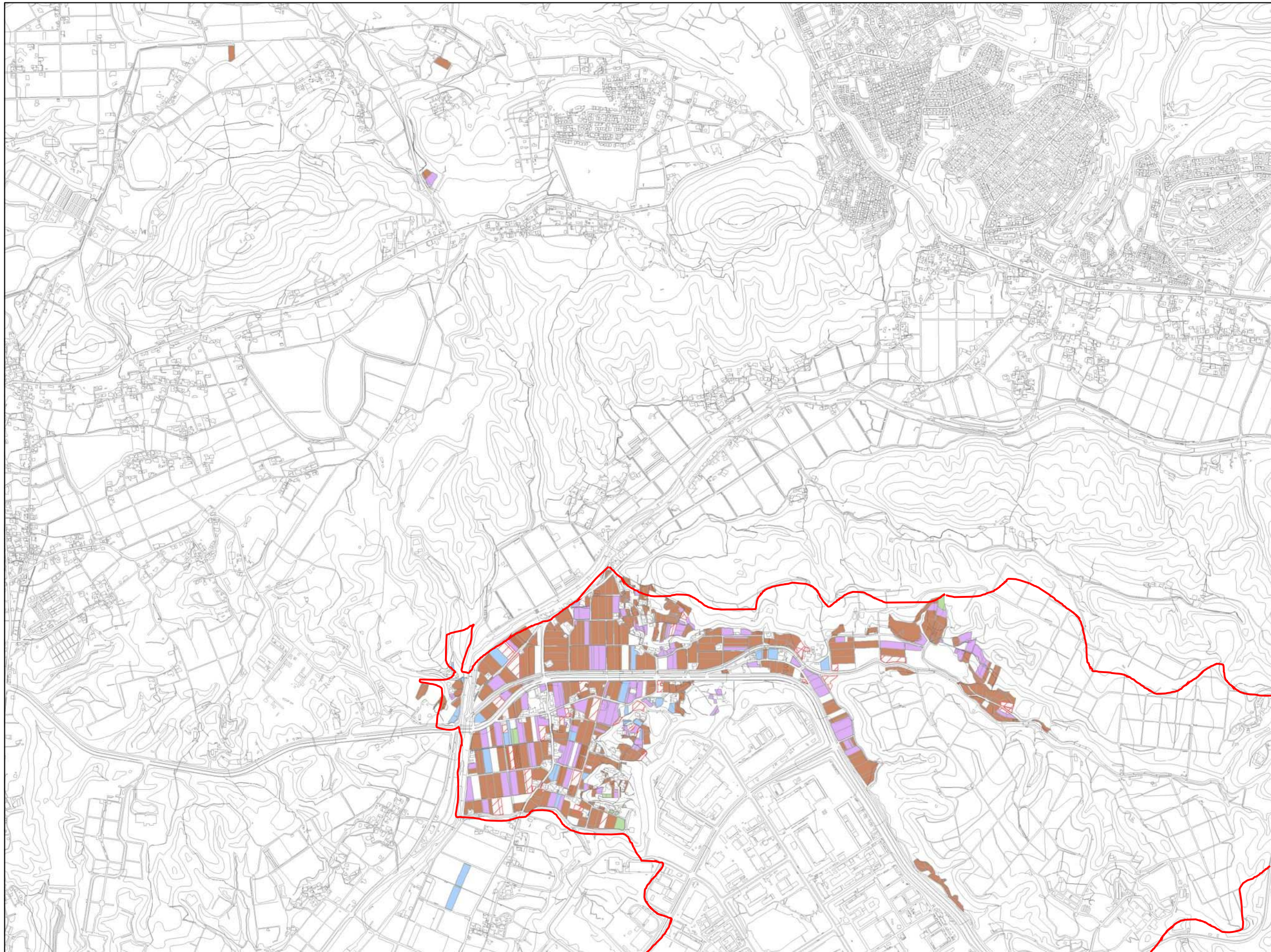
注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>今後、貸付け等の意向が確認された農地は、26筆、28,642㎡となっている。</p>
<p>農地の集約化を目指し、農地の貸借は、出し手・受け手にかかわらず、原則として農地中間管理機構を活用する。</p>
<p>集落内や果樹団地内において体験ウォーキング等のイベントを定期的実施することにより、都市住民に対する農産物のPRを行っていく。</p>
<p>果樹団地で生産される果物の加工・販売等の6次産業化の取り組みを継続する。加工品は、新鮮な農産物とともに、地区内にある全国でも有数の規模を誇る農産物直売所「六甲のめぐみ」を活用し、認知度の向上に努める。</p>
<p>市場等で高い評価を得ている地区内の畜産農家と連携し、ブランド力を活かした高付加価値化に取り組む。</p>
<p>入作を希望する近隣地区の認定農業者や認定新規就農者を積極的に受入れ、集落として支えることにより、地域農業の後継者として育成する。</p>

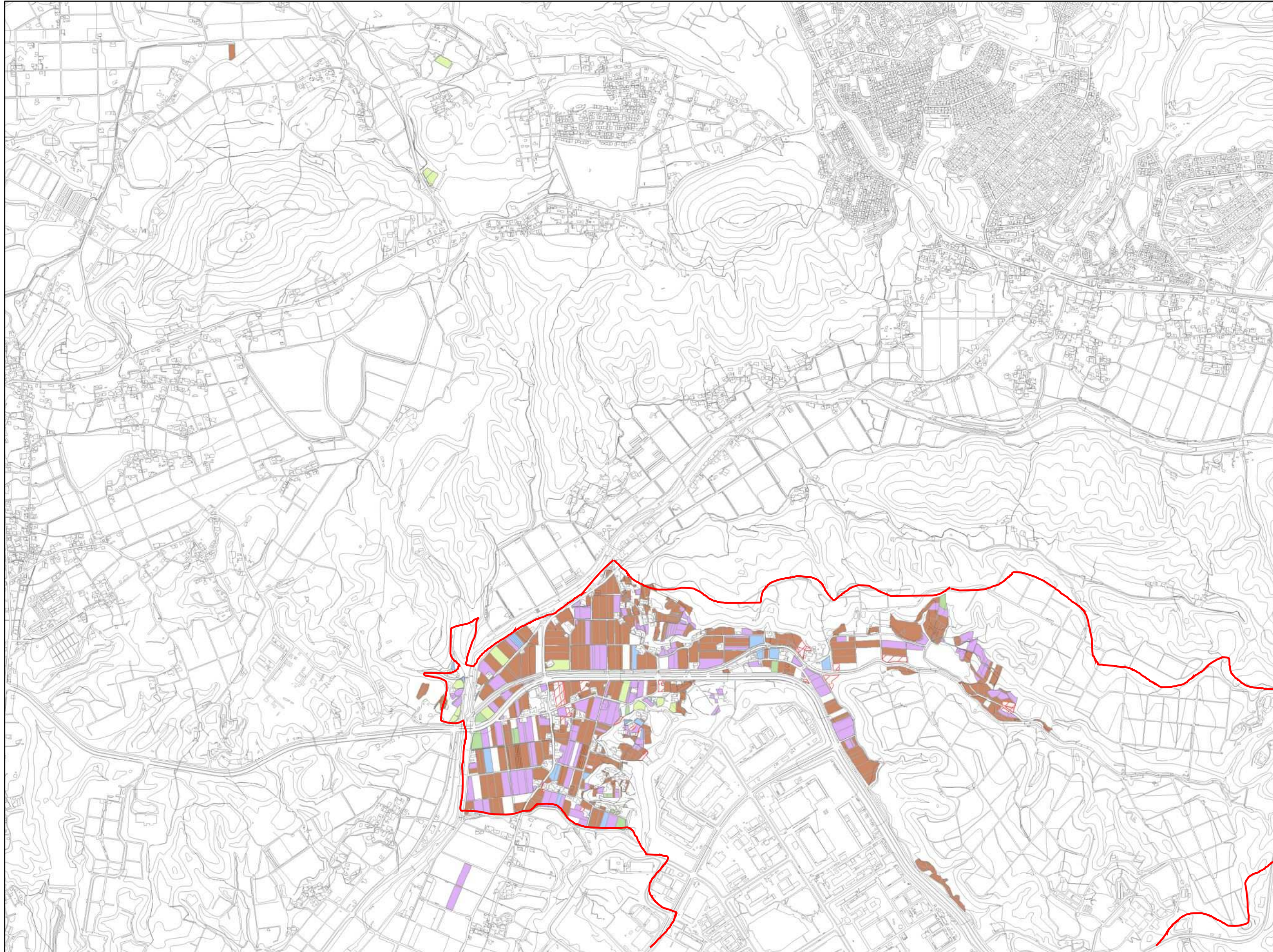
人・農地プラン【高和】



凡例

- 企業
- 所有者_年齢別
 - 年齢設定なし
 - 10歳代
 - 20歳代
 - 30歳代
 - 40歳代
 - 50歳代
 - 60歳代
 - 70歳以上

人・農地プラン【高和】



凡例

- 企業
- 耕作者_年齢別
 - 年齢設定なし
 - 10歳代
 - 20歳代
 - 30歳代
 - 40歳代
 - 50歳代
 - 60歳代
 - 70歳以上

人・農地プラン【高和】

